

## 1 . 浮羽森林組合の概要

浮羽森林組合は、福岡県の東南部に位置し、うきは市（スギ3,055ha ヒノキ2,021ha その他816ha）、久留米市（スギ807ha ヒノキ1,652ha その他915ha）を区域として活動しています。昭和16年3月設立、組合員数1,835名、常勤役職員数13名、現業職員数16名、林産事業組合員数33名の体制で運営する中核森林組合です。

特徴は、組合設立以来、林道開設に取り組み、昭和45年からは作業道開設に力を入れ、現在の路網密度は林道45m/ha、作業道50m/haに達していることで、この高密度路網を利用した森林整備（間伐等）の推進を図り、組合員から受託した林産事業を中心に安定した素材生産（12千～17千 $m^3$ /年）を行い、そのほとんどを森林組合系統の原木市場（県森連浮羽事業所）に出荷しています。



組合事務所



林道の状況



高性能機械による森林整備

## 2 . 合法木材の取り扱い概要

この森林組合では平成18年度の本証明制度スタート時から、地区座談会や広報誌をとおして違法伐採対策に係る制度の意義や仕組みについて森林所有者等に鋭意説明をし、合法木材供給の必要性について森林所有者の理解を深めてきました。

また、合法であることの根拠書類（伐採許可書・伐採届等）を徹底整備、保管するとともに納品書等に組合長名で合法木材であることの証明をしており、証明の根拠を求められた場合は遡って関係書類等を提示できるしくみを整えています。

現在、福岡県内の森林組合系統では、合法木材に限定した取り扱い（違法伐採材は取り扱わない）を推進しています。浮羽森林組合では、取扱原木の100%が合法木材となっており、森林組合系統一丸となって合法性が証明された原木を製材・加工施設等に供給していく取り組みを進めています。



浮羽事業所



合法木材集荷状況



保安林内立木伐採届書

### 浮羽森組合法証明実績量

平成18年度10月～	平成19年度	平成20年度
8,775 $m^3$	15,123 $m^3$	17,274 $m^3$